

* * *

学 会 記 事

* * *

§ 平成 15 年度第 4 回日本核医学会理事会
議事録

日時：平成 15 年 10 月 26 日 (日)

12 時 30 分～15 時 00 分

場所：東京・京王プラザホテル みずきの間

出席：久保敦司会長，利波紀久理事長，伊藤健吾，
大鈴文孝，日下部きよ子，小西淳二，鈴木
豊，瀬戸 光，玉木長良，竹田 寛，中川原
譲二，中條政敬，榎林 勇，福田 寛，福永
仁夫，前田 稔，各理事，西村恒彦次期会
長，本田憲業，吉田祥二，各監事，油野民雄，
井上登美夫，宇野公一，小泉 潔，穴戸
文男，各 (次期) 理事，棚田修二オブザー
バー，中村佳代子幹事長

欠席：尾川浩一，米倉義晴，各理事，佐治英郎 (次
期) 理事

議題

I. 審議事項

1. 次々期会長の推薦 (利波紀久理事長)
2. 第 5 回核医学春季教育セミナー会長について
(利波紀久理事長)
3. 第 42 回日本核医学会賞について
(中條恒彦理事)
4. 平成 15 年度事業計画
(日下部きよ子理事)
5. 平成 15 年度収支予算案 (久保敦司理事)
6. 評議員会，総会の議事進行について
(利波紀久理事長)
7. 次期理事会への引継ぎ事項について
(利波紀久理事長)
8. その他

II. 報告事項

1. 第 43 回総会状況報告 (久保敦司会長)
2. 第 44 回総会準備状況報告
(西村恒彦次期会長)
3. 第 4 回春季合同セミナー準備状況報告
(吉田祥二大会長)
4. 第 9 回実践セミナー状況報告
(中條政敬理事)
- 第 10 回実践セミナー準備状況報告
(福永仁夫理事)
5. 平成 14 年度事業報告
(日下部きよ子理事)
6. 平成 14 年度収支決算報告
(久保敦司理事)
7. 委員会報告
 - 1) 編集委員会 (鈴木豊理事)
 - 2) 教育・認定医審査委員会
(玉木長良理事)
 - 3) 健保委員会 (久保敦司理事)
 - 4) 広報委員会 (福田寛理事)
 - 5) 法人化対応委員会 (日下部きよ子理事)
 - 6) 標榜科推進委員会 (玉木長良理事)
 - 7) リスクマネジメント委員会
(伊藤健吾理事)
 - 8) 放射線防護委員会 (榎林勇理事)
 - 9) PET 核医学委員会 (福田寛理事)
 - 10) 放射性医薬品等適正使用評価委員会
(日下部きよ子理事)
 - 11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成
委員会 (久保敦司理事)
8. ワーキンググループ (福田寛理事)

9. 分科会活動

- 1) 腫瘍・免疫核医学研究会
(中條政敬理事)
- 2) 日本脳神経核医学研究会
(中川原讓二理事)
- 3) 日本心臓核医学会 (大鈴文孝理事)
- 4) 呼吸器核医学研究会 (瀬戸光理事)
10. 世界核医学会 (小西淳二理事)
11. 米国核医学会 (小西淳二理事)
12. アジアオセアニア核医学会 (鈴木豊理事)
13. 日韓中核医学会 (瀬戸光理事)
14. ARCCNM (棚田修二先生)
15. その他

III. 確認事項

1. 前回議事録(案)
2. その他

議事概要

I. 審議事項

1. 次々期会長の推薦(資料 利波紀久理事長)
第45回総会の会長について評議員の推薦アンケート結果(資料)が説明され、日下部きよ子氏、米倉義晴氏、遠藤啓吾氏の3名について投票し、16人の理事が全員一致で日下部きよ子氏を推薦した。
2. 第5回核医学春季教育セミナー会長について
(利波紀久理事長)
当初、東海地方にて開催の予定であったが、当該の時期に名古屋で万博が開かれることと重複するので、本件に関しては次期理事会での検討事項とした。
3. 第42回日本核医学会賞について
(資料 中條政敬理事)
応募論文8篇のうち、1篇は会員歴が1年であることから選考外として、7編についての評価が報告された。評価平均点から鈴木正彦氏(東京慈恵会医科大学神経内科)[論文1]、長谷川新治氏(大阪大学大学院トレーサ情報解析)[論文3]、渡部浩司氏(国立循環器病センター

放射線医学部)[論文7]、山本由香氏(香川医科大学放射線科)[論文6]の4名が選択され、承認された。

4. 平成15年度事業計画

(資料 日下部きよ子理事)

資料にそって事業計画が説明された。

また、編集委員会の次年度予定に関しては資料 にそって鈴木理事より説明がなされた。総会の抄録号に関しては一考の余地があることが久保会長より提言された。

また、日本核医学会の歴史に関する編纂を50周年に向けて準備を開始することも提案された。

5. 平成15年度収支予算案

(資料 久保敦司理事)

資料にそって説明がなされた。詳細はすでに前理事会にて報告済み。

6. 評議員会、総会の議事進行について

(資料 利波紀久理事長)

総会の議事進行が資料 にそって説明され、評議員会での提案事項に対するの答弁について確認がなされた。

7. 次期理事会への引継ぎ事項について

(資料 利波紀久理事長)

次期理事会にて述べることとされた。

8. その他

認定医から専門医への名称変更に伴う細則の改正が日下部理事より資料にそって報告された。

II. 報告事項

1. 第43回総会状況報告 (久保敦司会長)
Interactive-Image-Interpretation, パネル討論, シンポジウム III (医師会参加), 市民公開講座, 憩いの場の設置などが報告された。
2. 第44回総会準備状況報告
(西村恒彦次期会長)

平成16年11月4日~6日に京都国際会館にて開催すること、来年早々に演題募集を開始すること、ホームページなど開設の予定であるこ

- と、ランチョンセミナーなどを企画していることなどが報告された。また、市民公開講座は平成 16 年 9 月 30 日に京都府立医科大学の図書館にて、がんの予防などを取り扱う予定であることも併せて報告された。
3. 第 4 回春季合同セミナー準備状況報告
(吉田祥二大会長)
資料にそってプログラム「案」が報告された。初心者の講習会は 3 日間行う点などの変更点が示された。
4. 第 9 回実践セミナー状況報告
(中條政敬理事)
平成 15 年 10 月 4 日に開催され、参加者が 90 名で盛況であった旨報告された。
また、第 10 回実践セミナー準備状況報告(平成 16 年 3 月 13 日に岡山市にて開催)が福永理事よりなされた。
5. 平成 14 年度事業報告
(資料 日下部きよ子理事)
事業報告が資料にそって説明された。
6. 平成 14 年度収支決算報告
(資料 久保敦司理事)
資料にそって説明がなされた。詳細はすでに前理事会にて報告済み。
7. 委員会報告
- 1) 編集委員会 (資料 鈴木豊理事)
資料にそって報告された。ANM のインパクトファクターに関しては前年度の 0.503 から 0.561 へ増加したことが報告された。
 - 2) 教育・専門医審査委員会(玉木長良理事)
脳、心臓、腫瘍・一般を 3 本の柱として、新しいカリキュラムを作成中であると報告された。
 - 3) 健保委員会 (資料 久保敦司理事)
3 つの項目；FDG-PET の適応拡大、2 つの内用療法(甲状腺分化癌、甲状腺機能亢進症)を来年 4 月に申請の予定であることが報告された。
 - 4) 広報委員会 (資料 福田寛理事)
尾川理事に代わり資料にそって活動状況が報告された。
 - 5) 法人化対応委員会 (日下部きよ子理事)
前回の理事会より特に加筆すべきことなし。
 - 6) 標榜科推進委員会 (玉木長良理事)
11 月 11 日に SUB-SPECIALITY の委員会があり、福永理事が出席する予定であると報告された。
 - 7) リスクマネジメント委員会
(伊藤健吾理事)
米倉理事に代わり、前理事会にて提案の資料が核医学誌に投稿の予定であることが報告された。
 - 8) 放射線防護委員会 (榎林勇理事)
10 月 11 日に日本医学放射線学会での放射線防護委員会に出席した吉田監事より、規約改正をする予定であること、核医学会からも検討委員会に入る必要があること、IVR などの防護を HP に掲載予定であることなどが報告された。
また、県立弘前病院での事故に関しては調査団の報告があること、これに関連して事故があった場合のメールシステムに注意が喚起された。
 - 9) PET 核医学委員会 (資料 福田寛理事)
活動報告と引継ぎ事項の説明の後、『院内製造された FDG を用いて PET 検査を行うためのガイドライン』に関して変更後の草稿(案)が提示され、加筆・訂正などの意見が求められた。
 - 10) 放射性医薬品等適正使用評価委員会
(日下部きよ子理事)
各委員会の報告書を厚生労働省に提出して細かい点を訂正した後、核医学誌に掲載の予定であることが報告された。
 - 11) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会
(久保敦司理事)
ガイドラインのドラフトができあがったので、『核医学会』から厚生労働省に提出して目を通してもらう予定であることが報告

された。

8. ワーキンググループ (福田寛理事)
資料 にそって、報告された。
 9. 分科会活動
 - 1) 腫瘍・免疫核医学研究会 (中條政敬理事)
前回の理事会以降、特記することなし。
 - 2) 日本脳神経核医学研究会 (中川原讓二理事)
脳循環代謝学会の会員数が減少しており、「あり方委員会」を通して当該の分科会の会員に積極的な動きがあること、2007年には「BRAIN-PET」の会議があるので、相互に連絡の必要性があることなどが報告された。
 - 3) 日本心臓核医学会 (大鈴文孝理事)
10月29日に玉木長良会長のもとで、来春に福島医科大学の丸山幸夫会長のもとで学会が開催されることが報告された。
 - 4) 呼吸器核医学研究会 (瀬戸光理事)
9, 10回は井上登美夫会長、11, 12回は佐藤功会長のもとで研究会が開催されることが報告された。
 10. 世界核医学会 (小西淳二理事)
Lee 会長と10月27日に meeting の予定であると報告された。
 11. 米国核医学会 (小西淳二理事)
SNM 会長と10月28日に meeting の予定であると報告された。
 12. アジアオセアニア核医学会 (鈴木豊理事)
特に報告事項なし。
 13. 日韓中核医学会 (瀬戸光理事)
JKC-CNM2004 が平成16年5月13-14日に金沢にて開催されるポスターが提示された。
 14. ARCCNM (資料 棚田修二先生)
資料にそって説明がなされた。
- III. 確認事項
1. 前回議事録(案) (資料)
持ち回り会議にて承認された。

§ 平成 16 年度日本核医学会理事会 (暫定) 議事録

日時：平成15年10月26日(日)

15時00分～15時30分

場所：東京・京王プラザホテル みずきの間

出席：久保敦司会長，油野民雄，伊藤健吾，井上登美夫，宇野公一，大鈴文孝，小泉 潔，穴戸文男，瀬戸 光，玉木長良，利波紀久，中川原讓二，西村恒彦，福永仁夫，本田憲業，各理事，日下部きよ子，中條政敬，各監事

欠席：尾川浩一，竹田 寛，佐治英郎，各理事

議題

I. 審議事項

1. 理事長選挙

(日下部きよ子，中條政敬，各監事)

理事長の選挙が行われ，久保敦司氏が選任されたが，健康上の理由で辞退されたので，再度選挙を行い，利波紀久氏が選任された。

§ 日本核医学会平成 15 年評議員会議事録

日時：平成15年10月26日(日) 16:00～18:00

場所：京王プラザホテル エミネンスホール

出席評議員数：123名(委任状を含む)

日本核医学会会則に則り，会長が議長を務めた。出席者が定足数を超え，評議員会の成立が確認された。

議事

1. 久保会長より，第43回日本核医学会総会について報告があった。核医学の活性化を図ってゆくためのプログラム構成(キーパッド方式の導入，医師会員参加のシンポジウム等)が述べられた。
2. 第44回日本核医学会総会は平成16年11月

- 4日～6日に京都国際会館で開催されることが報告され、了承された。
3. 久保会長、日下部庶務担当理事より以下のごとく、資料に基づき平成14年度事業報告が行われ承認された。
 - (1) 平成16年度会長(第45回学術集會会長)として、評議員アンケートでの推薦票をもとに、理事会で投票を行い、日下部きよ子氏(東京女子医大)が推薦されたことの報告がありました。
 - (2) 名誉会員に田邊正忠氏、飯沼武氏、北方勇輔氏、福地稔氏、石橋晃氏、高橋恒男氏の6名を総会へ推薦することが承認された。功労会員に赫彰郎氏、金尾啓右氏、奥山武雄氏、金子昌生氏、高山茂氏、篠原照彦氏、山本昭氏の7名を総会へ推薦することが承認された。
 - (3) 鈴木編集担当理事が編集委員会、玉木教育担当理事が教育・専門医審査委員会、久保健保担当理事が健保委員会、福田広報担当理事が広報委員会、日下部庶務担当理事が法人化対応委員会、伊藤担当理事がリスクマネジメント委員会、利波理事長が放射性医薬品等適正評価委員会、玉木担当理事が標榜科推進委員会、福田担当理事がPET核医学委員会、檜林担当理事が放射線防護委員会、久保担当理事が放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会および選挙管理委員会の事業報告を行い、それぞれ質疑応答がなされた。
 - (4) 日下部庶務担当理事より4つの分科会それぞれに関し活動報告があった。
 - (5) 福田担当理事よりワーキンググループ活動報告があった。
 4. 久保会計担当理事が平成14年度収支決算報告を行った。次いで本田監事より、事務局において帳簿等監査の結果、会計は適正に処理されていることを確認したと報告され承認された。
 5. 日下部庶務担当理事が資料に基づき平成15年度事業計画を提案し承認された。
 6. 久保会計担当理事が資料に従って平成15年度収支予算案を提案し承認された。
 7. 日下部庶務担当理事より名称変更に伴う細則改正の報告があった。
 8. 久保会長より資料に基づき選出された新役員の報告があり承認された。理事会での選挙の結果、昨年に引き続き利波理事が新理事長に重任され、総会で承認を受けることとなった。
 9. 資料に基づき評議員よりの提案事項について、特に核医学検査・治療の包括化、核医学検査の保険適応、専門医・専門技術者制度等に関して質疑応答がなされた。
 10. 西村恒彦次期会長より挨拶があった。

資料

第43回日本核医学会総会資料

平成14年度物故会員

平成15年度推薦名誉・功労会員

平成15年度日本核医学会役員

平成14年度核医学編集委員会報告

平成14年度日本核医学会収支計算書(別表I)

平成14年9月1日から平成15年8月31日まで

平成14年度日本核医学会財産目録(別表II)

平成15年8月31日現在

平成15年度日本核医学会収支予算書(案)
(別表III)

平成15年9月1日から平成16年8月31日まで

日本核医学会会則および名称変更に伴う細則改正

健保委員会資料

第43回日本核医学会評議員会提案事項

§ 日本核医学会総会平成 15 年議事録

日時：平成 15 年 10 月 28 日 (火) 8:50~9:50

場所：京王プラザホテル 第一会場

出席者および委任状提出者：885 名

議題

1. 平成 14 年度事業報告および収支決算報告
2. 平成 15 年度事業計画および収支予算案
3. 名称変更に伴う細則改正
4. 新役員承認
5. 平成 16 年度会長 (平成 17 年開催第 45 回学術集會会長) 選任
6. 平成 15 年度会長 (平成 16 年開催第 44 回学術集會会長) 挨拶
7. 各賞贈呈
8. 感謝状贈呈
9. 名誉会員証贈呈

出席者と委任状の合計が定足数を超過していることを確認した。

会則に則り久保会長が議長を務め、配布資料に基づき議事が行われた。

議事に先立ち平成 14 年度の物故会員の高橋良吉、竹内昭、三森研自、宮地幸隆 (敬称略) のご冥福を祈り黙祷した。

1. 日下部きよ子理事が資料に基づき平成 14 年事業報告を行い承認された。
第 43 回学術集會を久保敦司会長のもとに平成 15 年 10 月 27 日~29 日東京にて開催中。
第 3 回春季合同セミナー (今井嘉門大会長)、第 6 回核医学実践セミナー北海道大会 (玉木長良大会長)、第 7 回核医学実践セミナー埼玉大会 (宮前達也大会長)、第 8 回核医学実践セミナー宮城大会 (福田寛大会長) が開催された。
久保敦司理事が平成 14 年度収支決算について報告を行った。次いで、吉田祥二監事より事務局において帳簿など監査の結果、会計は適正に処理されていることを確認したと報告され、

承認された。

2. 日下部理事が資料に基づき、平成 15 年度事業計画を提案し、承認された。
第 44 回学術集會を西村恒彦会長のもとに平成 16 年 11 月 4 日~6 日京都にて開催予定。
第 4 回春季合同セミナー大阪大会 (吉田祥二大会長)、第 10 回核医学実践セミナー岡山大会 (福永仁夫大会長)、第 11 回核医学実践セミナー愛知大会 (伊藤健吾大会長) を開催予定。
久保理事が資料に従って、平成 15 年度収支予算案を提案し、承認された。
3. 日下部理事より、以下の名称変更に伴う細則改正が提案され、承認された。
認定医から専門医への変更。
教育・認定医審査委員会を教育・専門医審査委員会に変更。
専門医認定制協議会を日本専門医認定制機構協議委員会に変更。
4. 油野民雄、井上登美夫、宇野公一、小泉潔、阪原晴海、佐治英郎、宍戸文男、西村恒彦、本田憲業 (敬称略；五十音順) が理事として新任、伊藤健吾、大鈴文孝、尾川浩一、久保敦司、竹田寛、玉木長良、利波紀久、中川原謙二、福永仁夫 (敬称略；五十音順) が理事として留任、日下部きよ子、中條政敬 (敬称略；五十音順) が監事として新任、利波理事が理事長として再任する新役員人事が提案され、承認された。
名誉会員として田邊正忠、飯沼武、北方勇輔、福地稔、石橋晃、高橋恒男 (敬称略) の 6 名を、功労会員として赫彰郎、金尾啓右、奥山武雄、金子昌生、高山茂、篠原照彦、山本昭 (敬称略) の 7 名を推薦することが、承認された。
5. 第 45 回日本核医学会総会会長候補 (平成 17 年) として日下部きよ子氏が理事会、評議員会で選出されたことが報告され、第 45 回日本核医学会総会会長として承認された。
6. 第 44 回日本核医学会総会会長西村恒彦氏より挨拶があった。
7. 第 41 回日本核医学会賞が、向高弘、福光延吉、久慈一英、三品雅洋 (敬称略) に、第 18 回

日本核医学会機関誌核医学最優秀論文賞が穂坂春彦(敬称略)に,第8回日本核医学会機関誌Annals of Nuclear Medicine 最優秀論文賞が伊藤浩(敬称略)に,Asia and Oceania Distinguished Young Investigator's Award が, Nan-Tsing Chiu, Nasim Khan, Ashwani Sood ,JianFei Guo, Won Jun Kang, Raj Kumar Rauniyar (敬称 略)に贈呈

された。なお,日本核医学会奨励賞は該当者がなかった。

8. 第42回日本核医学会総会会長の榎林勇氏へ日本核医学会への貢献により,感謝状が贈呈された。
9. 濱本研氏,國安芳夫氏へ名誉会員証が贈呈された。